






宗谷遺産アーカイブ

SO-YA Heritage Archive

| | | | | |
|---|----|------|---------|--|
| No. | よみ | ごめじま | アクセスマップ | https://goo.gl/maps/KHvm16YUnTLoHd6x9 |
| 枝④ | 名称 | ゴメ島 | 所在地 | 枝幸郡枝幸町音標ゴメ島 |
| 写真 | | | 分類 | 遺跡 |
|    | | | 所在市町村 | 枝幸町 |
| | | | 所在地補足 | 枝幸町と雄武町との町境に近い間内海岸の沖合にあります。 |
| | | | 構造・仕様等 | 安山岩の隆起による島 |
| | | | 規格・法量等 | 周囲約1km |
| | | | 該当年代 | 続縄文時代(約2,000年前)～オホーツク文化期(9世紀) |
| | | | 文化財指定 | 枝幸町指定文化財(天然記念物) |
| | | | 説明 | 枝幸町の最南端、雄武町との境に近い間内海岸の沖合約700mの海上に浮かぶ無人島です。全島がオオセグロカモメの繁殖地となっており、幕末の安政年間にこの地を過ぎた松浦武四郎は「鷗多し」と記録しています。島の頂上付近には、続縄文時代からオホーツク文化の各時期にわたる土器や石器や採集され、「音標ゴメ島遺跡」として埋蔵文化財包蔵地台帳に搭載されました。 |
| | | | 公開情報 | 音標漁港から船で接近し上陸する必要があります。ただし、全島が私有地なので立ち入りには許可が必要です。 |
| | | | 参考資料 | 川名広文・高畠孝宗, 2010; 音標ゴメ島遺跡分布調査報告. 枝幸研究2 |
| | | | 関連サイト | https://www.esashi.jp/ |

上段:ゴメ島全景

下段左:ゴメ島北東岸の柱状節理 下段右:飛び立つ海鳥たち